

いのちと暮らし、守り抜く まじめに、まっすぐ

2011年に県議会に送り出していただき、2期8年間「いのちと暮らしを守る県政」の実現をめざして、全力投球してきました。「まじめに、まっすぐ」が私の政治姿勢です。



千葉県は他県と比べて財政的に恵まれています。県民の暮らし満足度は必ずしも高くありません。医療・介護・福祉・教育にかかる予算が全国と比較して少ないこと、県独自の政策が乏しいことが主な理由だと考えます。

特に、次世代を担う子どもたちの保育・教育環境の充実は待たなしです。親の経済格差が教育格差につながらないよう医療費・給食費の無償化や学費の軽減など、さらに進める必要があります。

また、障がいがあっても高齢になっても地域で安心して暮らせる「地域包括ケア」のしくみづくりが求められています。医療・介護・福祉の多職種連携によるネットワークづくりを広げ、在宅医療を充実に力を入れます。

水問題は私のライフワーク。市議会議員の時から地下水の継続利用や治水対策などについて、16年間取り組んできました。ハツ場ダムや霞ヶ浦導水が完成すれば、水道水に占める地下水の割合が大きく減らされ、水道料金が跳ね上がります。無駄なダムの中止を求め、2003年から住民訴訟の事務局長として最高裁判決まで12年間闘ってきました。引き続き市民の共有財産である地下水を守り飲み続けるために、県条例の見直しを粘り強く求めていきます。

今後とも県内各地の現場に足を運び、当事者の方々と連携しながら、問題解決につなげていきます。平和で民主的な社会を地域から創りだし、子どもたちに手渡していくための活動も続けていきます。引き続き、これまで得た人脈や経験を活かして、さらに全力で取り組んでまいります。

入江あき子

私たちが応援します



入江さんとは15年ほど前から、河川行政のあり方を変えるために一緒に取り組んできました。昨年の西日本豪雨災害などで被害の発生が激化するのには河川行政のあり方に根本的な欠陥があるからです。また、佐倉市水道がおいしくて安全な地下水の放棄を迫られているのも誤った河川行政によるものです。まっとうな河川行政に変えていくために長年の実績と豊富な知見をお持ちの入江さんのご活躍に強く期待します。

水源地問題全国連絡会・共同代表 **鳴津 暉之**



主要農作物種子法が廃止され、これまで都道府県が担ってきたイネ・麦・大豆の種子の安定供給が危うい状況です。新潟県や埼玉県など5県では、公共品種を守るために独自条例を制定し、さらに7つの都道府県で条例が制定されそうです。入江あき子さんは千葉県の種子を守る運動に非常に熱心で、生産者や消費者とともに進めています。私はそのような入江あき子さんを応援いたします。

弁護士 元農林水産大臣 **山田 正彦**



「総合診療専門医」「地域包括ケアシステム」そして「自然エネルギー推進」に邁進する入江あき子さん。誰もが安心して地域で暮らし続けるために、引き続きさらなるご活動を期待しております。

佐久総合病院地域ケア科 医師 **色平 哲郎**



入江さんは、県民の暮らしを守るため、水道法の改正やダム建設に反対してきました。また、県立高校など教育環境の改善にも実績をあげてくれました。政治は人です。未来を担う子どもたちのことを真剣に考えている入江さんを県政に推薦します。「自民一強」「男性9割」の千葉県議会を変えるために必要な人です。

衆議院議員 **おくの 総一郎**



いつも元気いっばいの入江あき子さん。平和の大切さを訴え、命の大切さを訴える姿には、ぶれることのない筋が一本通っています。医療や環境問題、子どもの貧困対策、市民の地下水を守る問題には、たくましさがいっばいです。県民の声なき声をつなげる人です。

千葉県議会議員 社民党千葉県連合代表 **小宮 清子**

入江あき子のプロフィール

1965年 仙台市生まれ
1988年 国際基督教大学(ICU)教養学部社会科学科卒業
セイコーインスツル株式会社勤務

2003～2011年 佐倉市議会議員
2011年4月 千葉県議会議員2期目

- ・健康福祉常任委員会委員
- ・会派「市民ネット・社民・無所属」代表
- ・自治体議員立憲ネットワーク所属
- ・千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
- ・千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
- ・ハツ場ダムを考える1都5県議会議員の会事務局長
- ・核兵器廃絶をめざす千葉の会副代表

家族 夫、息子二人(26才・23才)

入江あき子事務所

住所 〒285-0846 佐倉市上志津 1722-2 電話 043-312-8760
FAX 043-312-8761 URL <https://irieakiko.jp/>
mail groundwater.sakura@gmail.com



入江あき子サイト



働き盛り・責任世代 53才

千葉県議会議員

入江あき子

無所属
自治体議員
立憲ネット

入江あき子とまちづくりの会通信 臨時号

2015～2018年 県議2期目で実現したこと



子ども・教育

奨学資金貸付制度の延滞利息14.5%を5%に引き下げた。
スクールソーシャルワーカーの拡充。



県立高校施設の現地調査

県立高校普通教室への県費によるエアコン設置。
(2019年度より全校で実施予定)

老朽化した県立学校の校舎・グラウンド等の整備費を大幅に増額させた。
(佐倉南高校図書室のエアコンを整備。佐倉高校図書館棟の建替えを要請中)

医療

医療・介護の連携、在宅医療を進めるための事業を拡充。



佐久総合病院 色平哲郎医師と

医師確保のための修学資金貸付制度を拡充。

印旛保健所の結核業務コンプライアンス違反を調査し、結核の蔓延防止策を強化させた。

福祉

児童相談所・一時保護所の専門職を増やし、施設環境を改善。



市川児童相談所・一時保護所を視察

福島原発事故区域外避難者への住宅支援打切りに対し、避難者らと県交渉を重ね、県営住宅「避難者枠」の新設につなげた。

カラーユニバーサル（色弱のある人への情報保障）のガイドライン策定。

性暴力被害者ワンストップ支援センターの開設。

環境・まちづくり

県内における再生土埋立ての規制強化を求め、2018年9月に条例化。



歩道の危険箇所改善

印旛沼流域の治水対策、県道の冠水箇所の解消、危険な歩道の改善、橋梁の耐震化・長寿命化を進めた。

汚染土壌埋立事業（鋸南町）を地元住民とともに阻止。



佐倉市神門 再生土埋立て現場

千葉市と袖ヶ浦市に計画されていた石炭火力発電所の問題点を追求し、撤回させる。

県有施設における農薬・薬剤使用状況を毎年調査し、使用量を削減させる。



原発・石炭火力NO

入江あき子の政策

水と緑を守ります

- ◆ 佐倉・酒々井の美味しい地下水を飲み続けられるよう「千葉県環境保全条例」を見直します。
- ◆ 環境保全型農業で、印旛沼の浄化や水循環の健全化を進めます。
- ◆ (仮)千葉県種子条例をつくり、イネ等の在来種を守ります。地産地消を進め、食の安全や持続可能な農業につなげます。
- ◆ 産廃・残土・再生土埋立てを厳しく規制します。



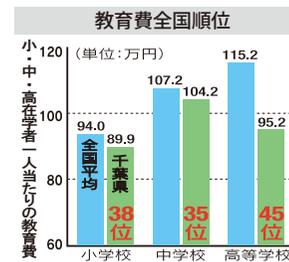
残土埋立事業抗議デモ



千葉県農林総合研究センター成東育成地 イネの原原種栽培を見学

子どもが輝く社会に

- ◆ 待機児童の解消と保育の質の向上をめざします。
- ◆ 児童虐待を防ぐため、親の孤立を防ぎ、子どもは社会全体で守ります。
- ◆ 個人の尊厳を大切に、すべての子どもが安心して学べる教育環境をつくりまします。
- ◆ 全国でも低い千葉県の教育予算を、引き上げます。



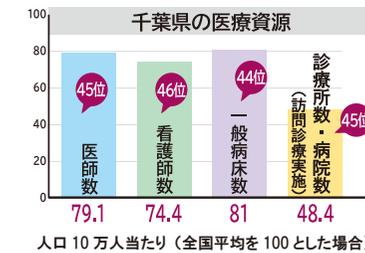
県立定時制高校夜間給食を試食



前川喜平元文科省事務次官と

一人ひとりに寄りそう 「地域包括ケア」を進めます

- ◆ 医療・介護・福祉・保健の連携による「地域包括ケア」を進めます。
- ◆ 医師・看護師の養成・確保を進め、地域医療を充実させます。
- ◆ 総合診療専門医や訪問看護ステーションを増やし、在宅医療を広げます。
- ◆ 障がいのある人もありのままに地域で暮らせる支援を進めます。



県立佐原病院で在宅医療を学ぶ

防災・再生可能エネルギーを進めます

- ◆ ゲリラ豪雨等による洪水被害を防ぐため、堤防強化などダムに頼らない流域治水の実現をめざします。
- ◆ 再生可能エネルギーの地産地消を進め、原発の完全中止を求めます。
- ◆ 市民による「ご当地電力」を応援します。



全国初「流域治水条例」を制定した嘉田由起子前滋賀県知事と



佐倉市水防訓練

希望ある未来に

- ◆ 民主主義、市民自治、平和主義の実現をめざして活動します。
- ◆ 集団的自衛権行使の安保法制廃止を求め、平和憲法を守ります。
- ◆ 核兵器禁止条約の署名・批准を政府に働きかけます。



沖縄県議との意見交換